

10 今後の過ごし方に対する意向

つぎに今後の過ごし方に対する意向を見る。

<まとめ>

利用者・未利用者は、在宅希望者が7割前後、施設・病院入所（入院）希望者が1割台である。

利用者よりも未利用者の方が、家族の介護だけを受けて生活したいとする割合が高い。

施設等入所者は、「引き続きこの施設・病院等で過ごしたい」が半数以上である。

施設等入所者の帰宅先は、「自宅」「娘・息子の家」「わからない」「ない」の順である。

帰宅にあたる問題点は、「家族が介護するには心身の負担が大きすぎる」「介護してくれる人がいない」などが多い。

（1）在宅高齢者等の意向（利用者・未利用者・高齢者一般）

利用者・未利用者の今後の過ごし方に対する意向をたずねた。

利用者では「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせたい（41.5%）」の割合が高く、「在宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい（27.8%）」が続いている。また、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）したい」は10.4%となっている。

未利用者では「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせたい（31.7%）」と「在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい（13.4%）」はいずれも利用者よりも回答が少なく、「在宅で家族などの介護を受けながら生活したい」が16.8%と、引き続きサービスを希望しないと見られる割合が比較的高い。また、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）したい」は14.5%と利用者よりも割合が高くなっている。

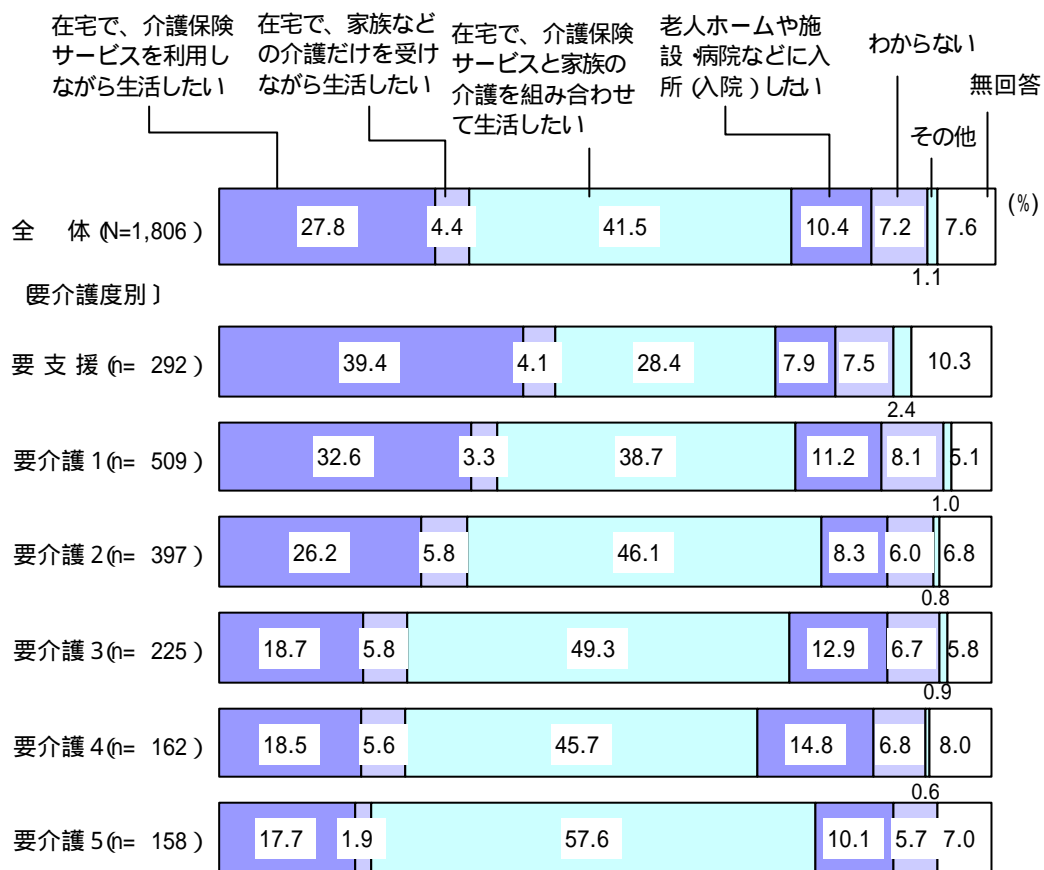
要介護度別に、“在宅での生活を希望する3項目の合計”を見ると、利用者については要介護度にかかわらず、ほぼ一定の割合である。これに対し、未利用者については、要支援から要介護2まではほぼ一定の割合であるが、要介護3以上では要介護度が上がるにつれて極端にその割合が低くなる。一方、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）したい」とする割合を見ると、利用者については、要介護度による割合に大きな差は見られないが、未利用者については、要介護度3以上で極端にその割合が高くなる（図表 - 10 - 1）。

未利用者について、現在の過ごし方別に、今後の過ごし方を見た。

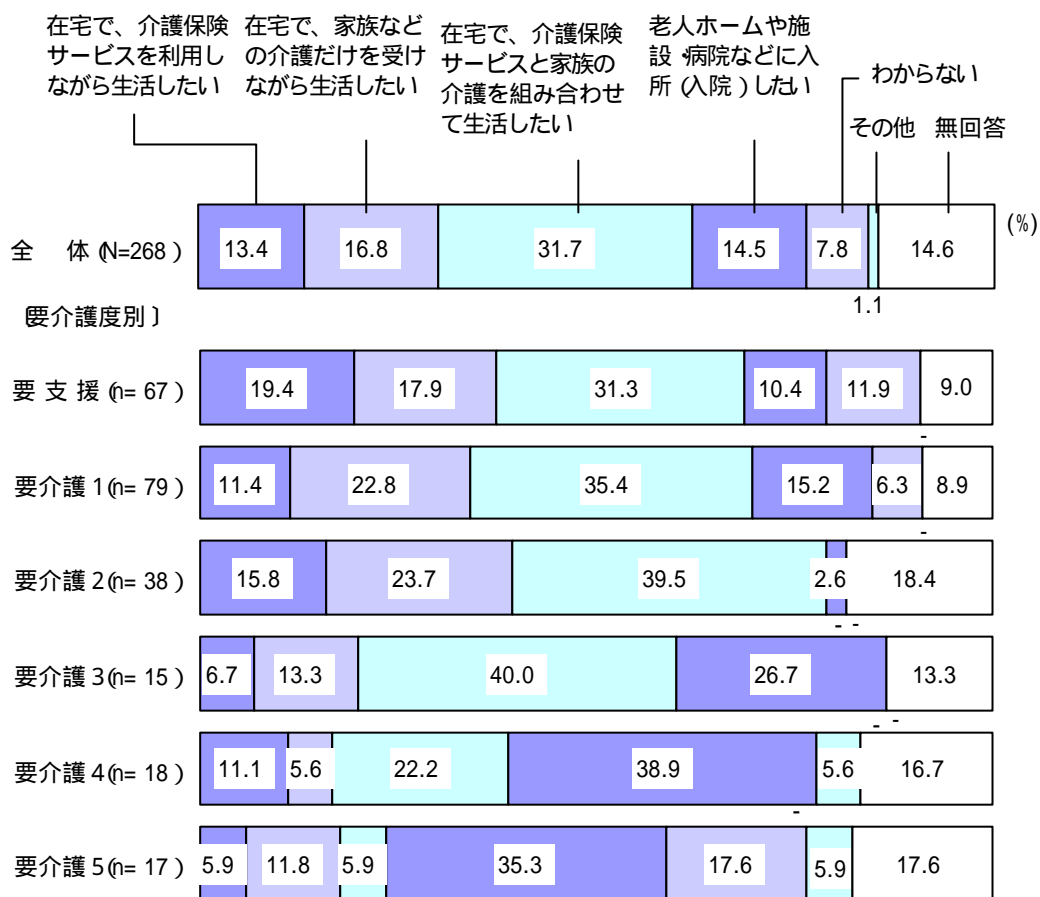
現在家族からの世話のみを受けている人のうち、「在宅で、介護保険サービスを利用」「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせたい」人は約半数で、この5割が今後の居宅サービスの潜在利用層として考えられる。しかし、今後も「在宅で、家族などの介護だけを受けながら生活したい（24.7%）」人も約4分の1で比較的多い。また、現在病院に入院している人は、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）したい（49.0%）」が多くなっている（図表 - 10 - 2）。

図表 - 10 - 1 今後の過ごし方の意向（利用者調査、未利用者調査 / 全体、要介護度別）

利用者



未利用者



図表 - 10 - 2 今後の過ごし方の意向（未利用者調査 / 全体、現在の過ごし方別）

		(%)						
\		在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい	在宅で、家族など介護だけをしながら生活したい	在宅で、介護を組み合わせさせて生活したい	老人ホームや施設・病院などに入所（入院）したい	わからない	その他	無回答
全	体 (N=268)	13.4	16.8	31.7	14.6	7.8	1.1	14.6
家族からの世話を	みを受けている (n=158)	13.9	24.7	38.0	5.7	5.1	0.6	12.0
在宅で介護保険以外	の福祉サービスを利用している (n= 9)	-	22.2	44.4	11.1	11.1	-	11.1
病院に入院している	(n= 49)	6.1	4.1	14.3	49.0	8.2	4.1	14.3
介護保険以外の施設	に入所している (n= 4)	-	-	25.0	-	25.0	-	50.0
その他	(n= 9)	33.3	-	22.2	-	22.2	-	22.2

参考に高齢者一般調査の結果を見ると、最も多いのは「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせたい(25.7%)」であるが、ついで「老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい(22.9%)」となっている。在宅要援護者調査の結果では、さらに「老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい(31.0%)」の割合が高くなる(図表 - 10 - 3)

図表 - 10 - 3 今後の過ごし方の意向(高齢者一般調査・在宅要援護者調査/全体)

		(%)						
		在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい	在宅中心で、家族などの介護を	在宅で、介護を組み合わせたい	老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい	わからない	その他	無回答
高齢者一般	(n=2,611)	19.8	10.2	25.7	22.9	12.0	0.5	8.9
在宅要援護者	(n= 420)	24.0	6.0	9.5	31.0	13.6	1.0	15.0

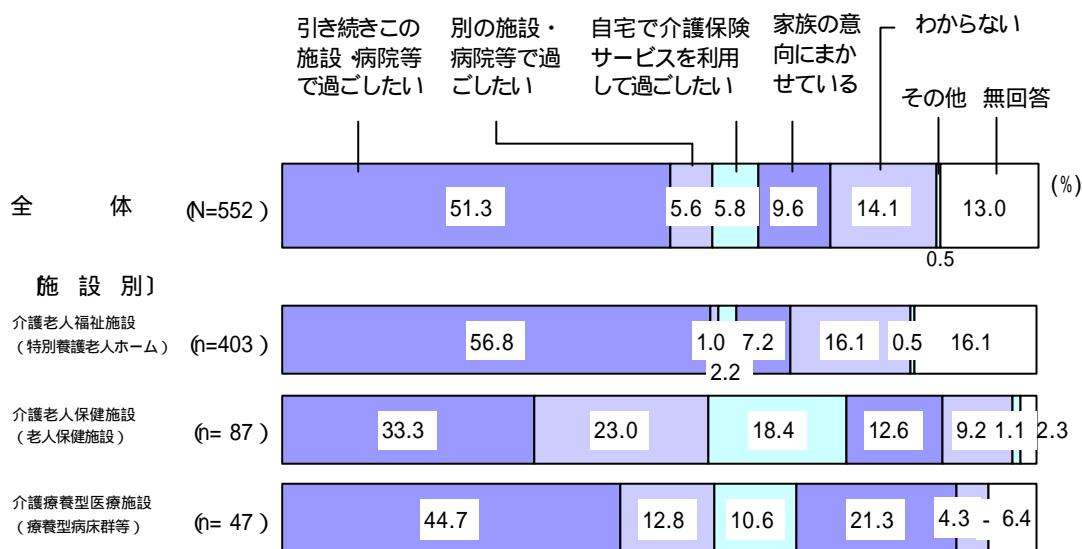
(2) 施設等入所者の意向 (施設等入所者)

施設等入所者の今後の過ごし方に対する意向をたずねた。

全体では「引き続きこの施設・病院等で過ごしたい」は51.3%となっている。「自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい」とする回答も5.8%あった。

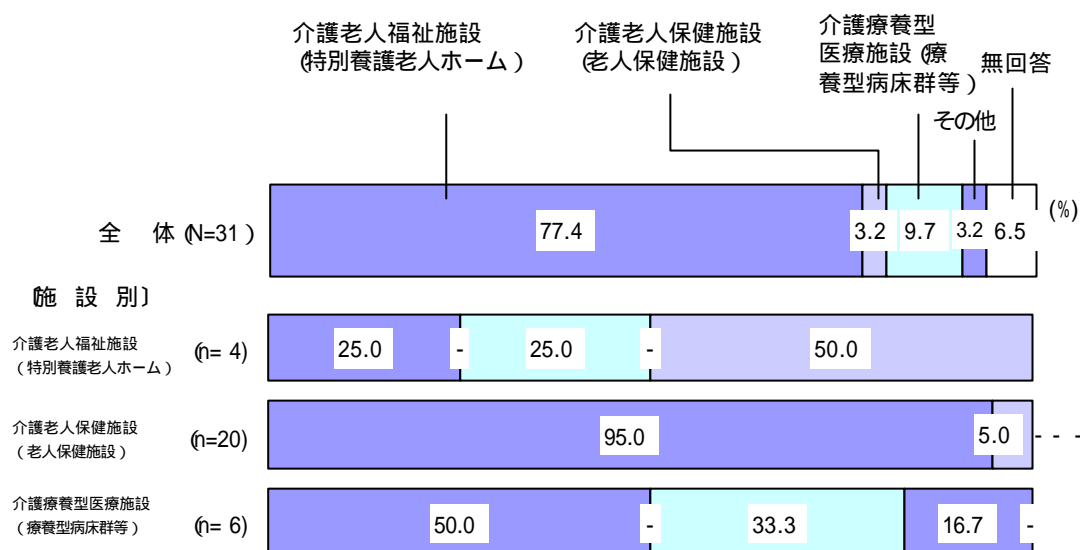
入所施設別に見ると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）では「引き続きこの施設・病院等で過ごしたい（56.8%）」という割合が高いが、介護老人保健施設（老人保健施設）では「別の施設病院等で過ごしたい（23.0%）」や「自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい（18.4%）」という割合が比較的高くなっている。介護療養型医療施設（療養型病床群等）では「家族の意向にまかせている（21.3%）」の割合が比較的高い（図表 - 10 - 4）。

図表 - 10 - 4 今後の過ごし方の意向 (施設等入所者調査 / 全体、入所施設別)



前問で「別の施設・病院等で過ごしたい」と回答した人に、どの施設等を希望するかをたずねた。最も回答が多かった介護老人保健施設（老人保健施設）の入所者では、ほとんどが「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）(95.0%)」と回答している（図表 - 10 - 5）

図表 - 10 - 5 希望する施設等
（施設等入所者調査《別の施設・病院等で過ごしたい人》全体、入所施設別）



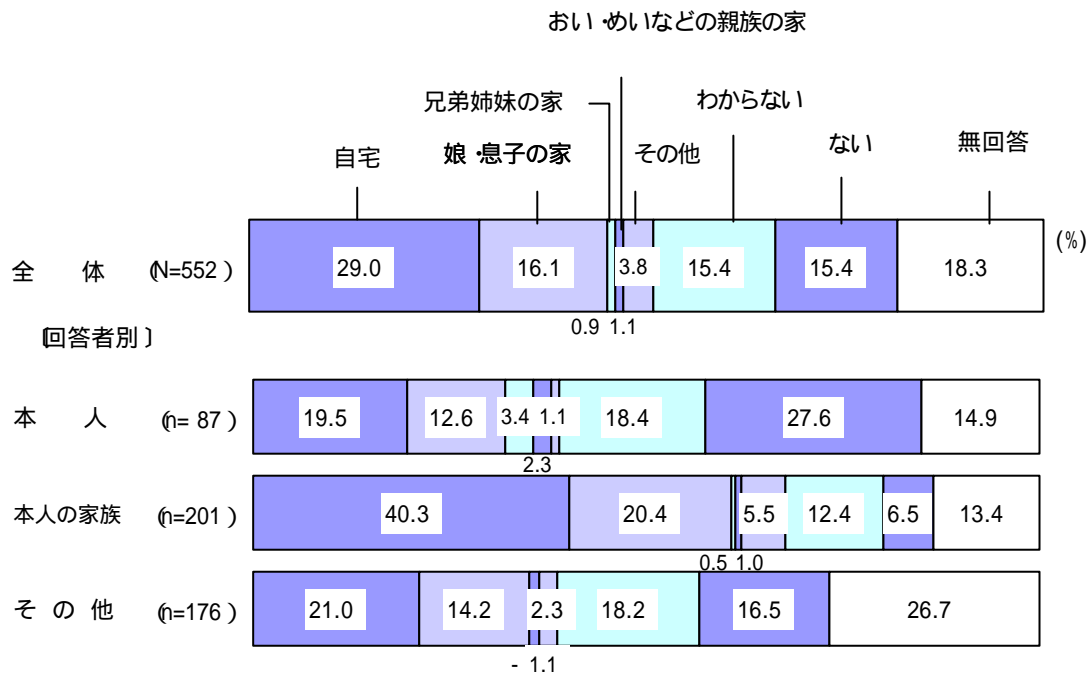
(3) 施設等入所者の帰宅先と在宅での介護の問題点

帰宅先

施設等入所者が帰宅する場合の帰宅先をたずねたところ、「自宅」は 29.0%、ついで「娘・息子の家」が 16.1%でそれに続いている。「わからない(15.4%)」「ない(15.4%)」とする回答も3割に達している。

回答者別に見ると、本人が回答した場合は、「ない」の割合が高く、本人の家族が回答した場合は、「自宅」の割合が高くなっている(図表 - 10 - 6)

図表 - 10 - 6 帰宅先(施設等入所者調査/全体、回答者別)

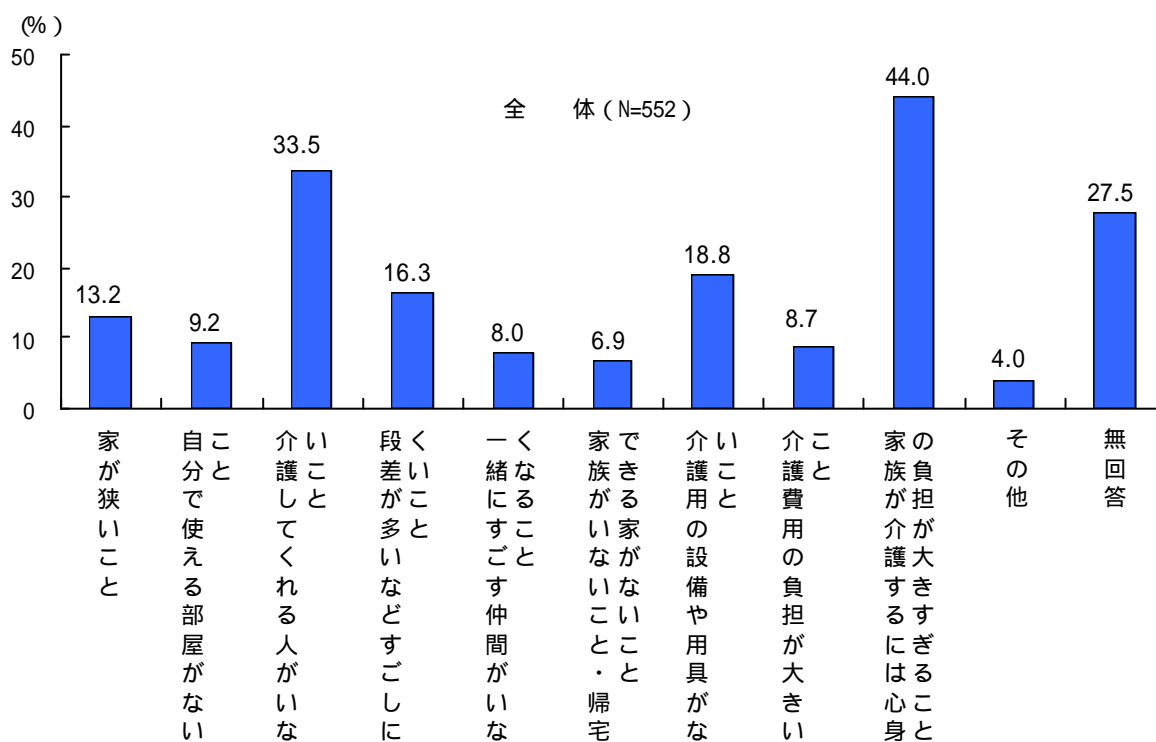


在宅での介護の問題点

帰宅にあたり問題となることをたずねた。「家族が介護するには心身の負担が大きすぎること(44.0%)」、「介護してくれる人がいないこと(33.5%)」と介護者の問題が最も多く挙げられている。また「介護用の設備や用具がない(18.8%)」、「段差が多いなどすごしにくいこと(16.3%)」など介護環境に関する問題も比較的多い。

年代別に見ると、後期高齢者、特に85歳以上になると、「家族が介護するには心身の負担が大きすぎること」の割合が高くなる(図表 - 10 - 7)。

図表 - 10 - 7 在宅での介護の問題点
(施設等入所者調査 / 全体 / 複数回答)



図表 - 10 - 7 在宅での介護の問題点
 (施設等入所者調査 / 全体、年代別 / 複数回答)

		家が狭いこと	自分で使える部屋がない	介護してくれる人がいない	くさがりが多いなどすごしに	一緒に暮らすことす仲間がない	家族がいないこと・帰宅	介護用の設備や用具がない	介護費用の負担が大きい	家の家族が介護が大きすぎるにぎはること	その他	無回答
全 体 (n=552)		13.2	9.2	33.5	16.3	8.0	6.9	18.8	8.7	44.0	4.0	27.5
年代別	65歳未満 (n=12)	8.3	16.7	33.3	25.0	16.7	8.3	25.0	-	25.0	-	33.3
	前期高齢者 (n=74)	12.2	9.5	37.8	18.9	5.4	8.1	18.9	10.8	39.2	4.1	24.3
	後期高齢者 (n=45)	13.5	9.0	32.9	15.7	8.2	6.7	18.7	8.6	45.4	4.1	27.7
	85歳以上 - 再掲 - (n=276)	13.8	7.6	29.3	15.6	6.9	5.1	15.9	7.6	45.7	3.6	29.7